

会長方針

クラブテーマ：『クラブの、そして自分の未来のために』を考え、そして行動しよう！

R I 基本方針；

本年度のジェニファーE, ジョーンズR I 会長は世界にもたらせる変化を想像して大きな夢を描き、その実現のためにロータリーの力とつながりを生かすように、次の事を述べています。

「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を、私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています」、「昨日のことをイマジン(想像)する人はいません。イマジンは未来を描くことです」

これらはR I やクラブだけではなく、ロータリアンひとりひとりにも変化を起こし、またその変化を受け入れることを促しています。

R I テーマ；『IMAGINE ROTARY イマジン ロータリー』

地区基本方針；

嶋村地区ガバナーは、ガバナー信条として

“Take Action for Rotary Future.Reach Out for World Peace”

“ロータリーの未来のために行動しよう。世界の平和のために手を差しのべよう”

を掲げております。またその他に下記の各項目中、地区運営方針を5項目、最重点項目を3項目、重点項目を12項目、強調事項を4項目、それぞれを年間行動目標として示しています。

そこで今年度の具体的方針として、嶋村ガバナーが提唱する4F(Fresh 斬新、Fellowship 連帯感、Find 出会う、Fun ワクワクする楽しみ)をロータリー5大奉仕活動とをリンクさせていきたいと考えています。

クラブ運営方針；

クラブ運営方針としてクラブテーマである『クラブの、そして自分の未来のために』を実践することを考えるにあたり、下記の行動指針を推奨いたします。

① 違思考への寛容

自己と違う意見も存在することを許容し、いきなり批判や避難的な言動をしない。誰にでもその人なりの言いぶんがあります。まずは敬意を持って相手の言いぶんを聞き、そのあとに理解をする努力並びに理解を求める努力をしましょう。

② 自己並びに他己への寛容

人は時に選択の連続の人生の中で、最善ではない選択をするときもあります。

その最善の選択ではなかった事柄を生涯悔やむことは、豊かな人生を築くうえで足かせになる事があります。最善の選択をできなかった自己若しくは他己の選択を引きずらず、未来の選択でよりよい判断をすることに目と心向けましょう。

これらの行動指針を基本とし各委員会の活動が成されることを期待しております。

I クラブ管理運営委員会

- ① プログラムー参加する事が楽しみな例会(卓話)や奉仕活動であるプログラムの作成を希望します。
- ② 出席・会場監督ー例会前には入り口で会員・ビジター・ゲストを温かくお迎えし、例会が楽しいくなるような例会運営を希望します。
- ③ 親睦活動ー会員間の親睦が深まり、会員の家族や来訪者との交流促進、通常例会以外での親睦も盛んな運営を希望します。
- ④ 会員増強選考ー新入会員 5 名以上、退会者 0 名を期待します。
- ⑤ ロータリー情報・デジタル推進ー非常時下での ZOOM 例会へ多くの会員出席への対応、ロータリアンへ、為になる情報発信等の企画・運営を期待します。
- ⑥ 広報・ウェブクラブのホームページを活用し、クラブでの奉仕活動・夜間例会等の告知並びに写真を用いた報告を頻度高く HP 更新を行う活動を希望します。
- ⑦ 会報委員会ー週報の作成・広告掲載企業の勧誘を希望します。

II 職業奉仕委員会

職業を通して、社会に貢献する活動を行う団体並びに人材の育成計画・活動を希望します。

III 社会奉仕委員会

地域に密着した奉仕活動の継続、新規の奉仕活動の計画・活動。また地域福祉への奉仕活動の推進も希望します。

IV 国際奉仕委員会

国境、人種、宗教、思想、信条を超越した平和活動の立案・活動を希望します。

V 青少年奉仕委員会

青少年交換留学生・米山奨学生へのサポート並びに地域の青少年育成事業の計画・活動を希望します。